

# ヒトゲノム・遺伝子解析研究等に関する情報公開用文書

西暦 2025 年 1 月 5 日作成

|   |  |
|---|--|
| 研究課題名   | ヒト難治癌の特性解析と薬剤評価系の構築  |
| 研究の対象   | 研究実施期間の間に、神奈川県立がんセンター消化器外科（肝胆膵）で外科切除される膵癌患者の生検体、ならびに、同センターにおける組織バンクの為に包括同意に合意し採取・保管されている病理組織を解析対象とします。   |
| 研究目的・方法   | 「癌幹細胞」は、放射線・化学療法に耐性を示すことから再発・転移の起点となる細胞であると考えられています。本研究は、「癌幹細胞」を対象とした新規抗癌療法の開発を目標として、難治癌における「癌幹細胞」を分離・同定し、その細胞生物学的な特性解析（化学・放射線感受性）、ならびに特異的発現・変異を示す分子群の同定を網羅的な RNA シークエンス解析・ゲノムシークエンス解析・プロテオーム解析・糖鎖解析等により試みます。また、患者さんより分離した癌細胞を用いて、薬剤評価系を確立することで、創薬開発の基盤構築を促進します。 |
| 研究期間  | 承認日 ~ 西暦 2026 年 3 月 31 日   |
| 研究に用いる試料・情報の種類  | 外科切除される膵癌患者の生検体、ならびに、同センターにおける組織バンクの為に包括同意に合意し採取・保管されている病理組織等  |
| 外部への試料・情報の提供  | RNA シークエンス解析・ゲノムシークエンス解析・プロテオーム解析・糖鎖解析等は精度の高い解析系を用いて網羅的な情報を取得するため、必要に応じて、横浜市立大学で抽出処理を行った後、抽出物を専門の測定技術を持つ外部機関（理研ジェネシスなど）に搬送し、解析する場合があります。また、本研究により得られた RNA シークエンスデータ等については、個人情報特定されない形で東京大学医科学研究所と第一三共株式会社との薬剤評価の研究に活用する。   |
| 研究組織  | 横浜市立大学（大学院医学研究科 臓器再生医学、生命医科学研究科 プロテオーム科学、国際臨床肝疾患センター）<br>神奈川県立がんセンター（消化器外科、臨床研究所、病理診断科）<br>東京大学（医科学研究所 幹細胞治療研究センター 再生医学分野）<br>放射線医学総合研究所 重粒子医科学センター  |
| 本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、当該研究に試料・情報が使用されることについて、検体等の提供者、もしくは代理人の方に了承頂けない場合には研究対象といたしません。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはございません。 |  |

## ヒトゲノム・遺伝子解析研究等に関する情報公開用文書

問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

横浜市立大学附属病院 国際臨床肝疾患センター 准教授 米田 正人（研究責任者）045-787-2640

神奈川県立がんセンター 消化器外科（肝胆膵）部長 森永 聡一郎

神奈川県立がんセンター 臨床研究所 部長 宮城 洋平

045-391-5761

研究責任者、研究事務局、主治医と連絡が取れない場合は、横浜市立大学付属病院医学部・病院統括部総務課（045-787-2920）にお問い合わせ下さい。